

都市計画税の導入検討に係る市民懇談会 意見交換要旨（第2回）

日時	平成31年1月26日(土) 10:00～11:30
会場	コミセンみかみ 大ホール
参加者	市民11人
出席職員	市長 (政策調整部) 竹中部長、吉田次長 (企画調整課) 小池課長、企画調整課員2名

発言要旨		分類
意見	直近で市街化編入された地区では、何の計画もなく、突然編入されたように思う。まちづくりがうまく計画されておらず、行き当たりばったりな感じがする。大津・湖南都市計画区域の中では、一番立ち遅れているのではないか。もっとまちづくりを住民に提示しながら開発していく必要があるのではないか。	まちづくり
回答	まちづくりは、こうしていくという絵図があるべき。過去には、駅前は大商業ゾーンにするという話だった。今となっては商業ゾーンどころか住宅ゾーンでもない。草津や栗東は、先にそうしたゾーン計画をした後に、まちが出来てきているので、良い形のまちづくりができています。野洲市ももっとしっかりした絵図を描いてほしい。	
意見	平成28年にまちづくりビジョンを策定されているが、数値目標として何年度に何%まで市街化割合を増やしていくのか、そのためにどうしていくのかという具体的な計画まで提示されているのか。	まちづくり
回答	割合で言うと、ごく一部にしかならない。合理性で既存市街地とどのように連たんするのか、道路整備はどうするのかといったことを考えないといけないので、市街化割合は結果である。割合を上げていくというよりは、良いまちづくりをしていくことで、結果的に割合が高まっていくもの。 これからどれだけ市街化区域を増やしていくかという点、大津・湖南都市計画区域全体での調整となるが、国道8号バイパス及び大津湖南幹線の沿線と、市街化調整区域の地区計画区域を優先的に市街化区域にしていく絵を描いている。	
意見	税額の算出例が4つほど示されているが、平成21年度当時に反対があったのは、どのパターンの地域なのか。	導入(案)
回答	算出例は、あくまでパターンであるが、近いのは1番と2番の間くらいイメージである。	
意見	新快速の停まる草津や守山は、まちの風景がどんどん変わってきているが、野洲はここ20年くらいほとんど景色が変わっていない。その理由は、説明にあったように都市基盤整備ができていないためだろうと思う。野洲は始発・終着駅でもあるので、もっと発展しても良いはず。それがこのような状況なのは残念であるので、市が提案する都市計画税はある程度必要だと思う。	まちづくり
回答	こうしたことは目に見えるものであるが、目に見えない福祉施策などについて、野洲は他市に比べてどうなのか。	

発言要旨		分類
回答	福祉施策の水準は上げている。保育園の待機児童解消、中学校における給食実施、学校施設の耐震化とエアコンの整備など実施してきている。学童保育所でも待機児童なしで実施しているが、全国的にもこれは珍しい。現時点で福祉はかなり充実している。 今は問題ないが、今後、伸びていけるかどうかというところで、都市計画税を提案しているものである。	まちづくり
	なお、事業所は設備投資が盛んで、従業員数も含めて大きく変わってきている。また国道8号バイパスの開通を見越してのことだと思うが、事業用地の要望も多い。まちが変わっていないということであるが、事業所はどんどん変わってきている。	
意見	事業所で増やされた従業員の住宅需要が、野洲で対応できないものかと思う。	
回答	まさにそれを狙っている。市内事業所の従業員のうち、約25%弱しか市内に住んでおられない。守山、栗東で人口が増えているのは、実際は野洲事業所に勤めている人が住んでいるのであって、野洲市内でもっと住宅供給をしていかないといけな。計画的に増やしていきたい。	
意見	近江富士団地の道路はガタガタで、農道よりも悪い状態である。我々は、後から望んでもいない市街化区域になって、税金を取られることになる。工業団地を作るときに、どれだけ当時の野洲町が良い話をしたか。それができていないのだから、都市計画税を充てようとしても無理である。近江富士団地は衰退の一途である。幼稚園、保育園、マーケットがなくなって、若い人が住んでも生活に困られている。どうやって解決してくれるのか。	まちづくり
回答	これからまちづくりを進めていく。国道8号バイパスが整備できれば、交通条件が変わって、大きく状況が動くと考えている。	
意見	三上学区においても、下流の排水対策ができていないために開発の際に大規模な調整池が必要であったり、通学路の安全対策、国道8号バイパス整備を契機とした市街化編入、高齢化問題への対応など、多くの課題がある。 そうした課題に対して、限られた財源を有効に使っていただきたい。そのため、都市計画税で都市基盤整備をしっかりやってもらって、今まで要望しているそれぞれの地域の課題に一般財源を使ってほしい。	まちづくり
	近江富士団地がどのようなまちか住民に聞いてみると、自然が近くて、静かなまち、そして災害がないところ、という答えが返ってくる。けれど、逆に言うとお店もなく、買い物に不便であるし、避難所に指定されている保育園もなくなってしまう。もっと高齢者でも住みやすいまちづくりというものを考えてほしい。	
	個人的には、都市計画税の導入は仕方がないかと思う。けれど、みんなに納得してもらわないといけな。例えば、近江富士の場合でもいろんな問題を抱えているので、具体的な施策が見えてくると、納得できると思う。	

発言要旨		分類
意見	<p>先日、ある自治会の会長が都市計画税の導入について話をしに来られた。その際に心配しておられたのが、病院のことである。病院事業がうまくいかなかったら、市民に大きな負担が掛かってくる。だから病院事業の動向を見てから都市計画税を導入すべきではないかという話だった。</p> <p>確かにみんなに負担が掛かる話であるので、みんなが納得できるように説明いただきたい。やはり住みよいまちづくりのために税金を納めるのだから、自分たちの住むまちがどうなっていくのかということが理解できれば、賛成いただけると思う。そのため、道路整備に使いますというだけではなく、そういうビジョンというのが見える説明があったら良いと思う。</p>	
回答	<p>三上保育園は、元々耐震化ができておらず危ない建物だったので、幼稚園と一体的に整備して効率的な運営をしようとするものである。</p> <p>市内の避難所は、基本的に既存の公共施設に位置づけているだけなので、もう一段階の安全対策が必要であるし、今後は各地域にそうした避難できる場所が必要だと考えている。</p>	まちづくり
	<p>市民病院整備事業と都市計画税の導入検討は、直接関係がない。病院整備事業は、透明性を保って計画を示している。仮にうまくいかなかったとしても、都市計画税で穴埋めをするということはない。</p>	
	<p>高齢化に向けた対応については、まず平成31年度からコミュニティバスを2路線増やす予定である。これにより、近江富士団地の場合は、駅への路線と、図書館への路線の両方を使えるようになる。</p> <p>これについては、一般財源を使うことになるが、都市基盤整備の部分には他のまちと同様に都市計画税を充てることによって、今後更にバス路線を増やすなどのサービスを充実させていけるようになるので、提案しているものである。</p>	
意見	<p>前回、平成21年度当時に一部の自治会からの反対もあって導入を見送られたことによって、12年間で約70億円的一般財源を使ってきた。本来、やるべきことができていないということもあるかと思う。そういうことから、反対意見はあると思うが、今回はぜひ進めていただかないと、歪なことが広がってしまうと思う。</p>	その他
回答	<p>都市計画税は、全額が市民に還元されるものである。税金によっては、課税と徴収の仕組みまで制度設計しないといけませんが、都市計画税は良い意味で簡便にできる。課税・徴収コストは大きく掛からないので、透明性を保って、全額を市民に還元していく。</p>	